

1 事業の趣旨

- ・ 省エネの専門家が府内の事業所を訪問し、それぞれの事業所のお悩みや実態に応じて、適した省エネの方法をご提案。地球温暖化防止や、エネルギーコスト削減による事業者等の経営基盤強化等に貢献します。

<お悩み例>

- ・ 毎月の電気代が高額で困っている。なんとか経費節減したいが、方法が分からない。
- ・ 設備(空調、照明等)が老朽化しており更新する必要がある。更新に合わせて、省エネ設備を導入したいが、お勧めの設備やどれくらいの期間で投資回収できるかを知りたい。
- ・ 太陽光発電等による再生可能エネルギーや蓄電池の導入に取り組んでみたいが、どうしたらよいのか分からない。
- ・ エネルギーマネジメントシステムを導入したが、うまく使いこなせていない。など

2 診断の対象

京都府内に事業所を持つ中小企業(法人及び個人)、各種法人、団体など

3 受付期間・お申し込み方法

令和4年4月25日(月) ~ **令和5年1月27日(金)** (※**予定数に達するまで**)

京都知恵産業創造の森のホームページから、お申込みください。

https://chiemori.jp/smart/support/y2022/r4_ems.html

4 事業のステップ

診断申込

- 1 申込書と次の書類を、一般社団法人京都知恵産業創造の森までご提出ください。
(FAX、Eメール、郵便のいずれか)
＜提出書類＞
 - ①申込書(様式は当法人のホームページに掲載)
 - ②直近月の「電気料金計算内訳書」のコピー、使用している他のエネルギー(ガス、重油など)の直近月の請求書のコピー
- 2 診断実施機関(NPO法人京都シニアベンチャークラブ連合会)から訪問日を調整

詳細診断(←お勧め)

- ① 診断員が事業所を訪問し、3時間ほどお時間をいただき、計測とインタビューを実施
多くの電力を消費する機器に消費電力計を設置し、1週間程度継続的にデータを計測
- ② 診断員が事業所を訪問し、データに基づく詳細な診断結果の報告書をご提出し、効果的な運用方法や設備改修方法について説明・提案

簡易診断

- ① 診断員が事業所を訪問し、2～3時間ほどお時間をいただき、簡単な計測とインタビューを実施
- ② 当日中(原則)に、簡易診断の結果報告と助言を実施

詳細診断では、各事業所の状況に応じ、具体的なご提案を行います(提案項目の例)

空調負荷の低減	日射負荷の低減	窓ガラスへの遮熱フィルム貼付 ブラインド・カーテンの活用 空調室外機の日よけ、散水
	断熱の強化	断熱材の貼付・強化 複層ガラス 屋上、壁面緑化
	温度設定の緩和	居室・共用部の空調温度
	外気量の適正化	在室人数に応じた換気量 不使用室の換気運転 隙間風の防止
機器の効率化	高効率機器への更新	変圧器 照明器具(インバーター安定器、高輝度蛍光灯等) 空調設備 昇降機 ポンプ類(インバータ化、台数制御等) 省エネベルトの装着
	運転台数の見直し	空調熱源機 照明器具
自然エネルギーの利用	屋光利用の検討	照明制御
	自然換気・通風の導入 太陽光発電設備の導入	採用有無の検討 設置規模の検討
水資源の有効利用	節水器具の採用	節水器具、自動水栓、節水コマ 擬音装置の導入
	雨水・再生水の利用	雨水貯水タンク、雑用水利用
無駄の排除	排熱の利用	全熱交換器の採用
	熱損失の防止	空調ダクト、冷温水、給湯の断熱強化 風除室、エアカーテンの設置
	熱混合ロスの防止	冷熱・温熱混合ロスの防止
	人感センサー導入	照明・換気設備に人感センサー連動
最新システムの導入	自動制御見直しによる高効率化	高機能自動制御設備の導入 電力デマンド制御の導入
	給水システムの見直し	水道本管水圧を利用した給水方式
運用管理の見直し	運転見直し	中間期の空調稼働停止 昇降機の時間外台数運転 夏季の給湯停止
	維持管理	設備運転時間の管理 空調フィルター・コイルの清掃 照明器具の清掃
省エネ・節電 ・EMSの推進	省エネ・節電 ・EMS推進の体制整備	組織の構築 EMS導入等によるエネルギー使用状況把握・業務改善

省エネ成功事例

事例1	<p>蛍光灯照明のLED化 ・110Wの蛍光灯を140本使用されている店舗の照明を直管型LEDランプに交換</p>	<p>○年間消費電力 70%削減 ○年間電気料金 101万円削減 ○LED化に係る投資 1.4年で回収</p>
事例2	<p>低圧電力契約料金の見直し ・水冷空調機の老朽化に伴い、空冷ヒートポンプ式高効率空調機に更新したが、電力会社の契約電力量の見直し申請を忘れていた。</p>	<p>低圧契約電力量の見直しを申請するだけで ○低圧動力契約電力 42kWh ⇒ 26kWh ○年間の電力基本料金 19万3千円削減</p>
事例3	<p>コンプレッサのインバーター化 ・12時間連続運転の定速型コンプレッサをインバータ型に交換</p>	<p>ピーク電力が下がった結果、電力基本料金も下がり ○年間消費電力 73,134kWh削減 ○年間電気料金 149万円削減 ○コンプレッサ交換に係る投資 1.7年で回収</p>
事例4	<p>夏場のピーク電力対策 ・スーパーマーケットで夏場の猛暑日だけピーク電力が発生していることが調査の結果判明。その時間帯のみバックヤードの照明や空調温度のコントロールを実施</p>	<p>契約料金プランを変更できたことにより、 ○年間電気料金 63万6千円削減</p>

その他の事例は、「省エネ・節電・EMS 令和3年度事例集」をご覧ください。

<https://chiemori.jp/smart/cms/wp-content/uploads/2022/02/1584e7a57bf657797680ffba3d14ac66.pdf>

5 診断・アドバイス実施機関

NPO法人 京都シニアベンチャークラブ連合会 (略称:KSVU)

企業・行政等で経験を積んだOBの知識・技術・ノウハウを社会貢献に役立てることを目的として、平成2年に設立。

中小企業等に対する経営改善のアドバイス、専門技術の提供及び人材育成、青少年の教育支援などの活動を継続中。

同会のメンバーでつくる省エネ研究会は、エネルギーの「見える化」をもとにした省エネ提案活動を行い、中小企業の省エネ・コスト削減に貢献している。

<次の会員で構成>

- 京都市シルバーベンチャークラブ(京都市役所OB等)
- NPO法人 XOクラスター(オムロン(株)OB等)
- 堀場OBベンチャークラブ((株)堀場製作所OB等)
- 島津シニアベンチャークラブ((株)島津製作所OB等)
- キャリアネットワーク京都クラブ(各種企業OB等)
- GS・OBベンチャークラブ((株)ジーエス・ユアサコーポレーションOB等)
- スリーエス・シニアベンチャークラブ(積水化学工業(株)OB等)
- エスエスアイクラブ((株)SCREENホールディングスグループ企業OB等)
- ワコール倶楽部チャレンジネット((株)ワコールホールディングスOB等)